

津市の食べ物を深掘り

あ津まるしえ

もくじ

- 1 あ津まるしえとは
- 2 メリット、デメリット
- 3 取り扱う商品
- 4 まるしえの運営
- 5 雨の日は？
- 6 宣伝方法
- 7 将来の津市、三重県の姿

1. あ津まるしえとは

津の農産物、特産物を集めたまるしえのこと！！ものも人も津に集まるマルシェ



あ津まるしえ全景

〈津まんなか広場〉

- ・木を囲んでテントを円上に配置
- ・木の周りに椅子を配置してマルシェで買ったスイーツを食べることが可能



場所

津市まん中広場
→無料で申請可能
→**どれだけの人が来るか**
第1回の来場者により会場を変える？



期日

土曜日の10時から16時（昼食や夕食のお惣菜を買える。または間食を手軽に食べられる。）

季節ごとに開催



2. メリット、デメリット

メリット

～農家さん目線～

- ・新たな顧客を獲得できる
- ・消費者との交流
- ・ニーズを知ることができる
- ・店同士の交流により情報交換やコラボが生まれることもある

～消費者目線～

- ・あまり出会わない商品や店と出会える
- ・生産者の顔が見える
- ・食材なら料理のコツなども聞けちゃう
- ・津の野菜に親しみをもってもらえるきっかけになる

デメリット

～農家さん目線～

- ・長時間まるしゑで販売するのが大変
- ▶地元の高校生が手伝う←普段交流することが少ない年配の方と交流できる
- 手伝ってくれた高校生にはマルシェ内の商品を一つプレゼント

～消費者目線～

- ・保存環境があまり整っていないと、新鮮さが損なわれる
- 発泡スチロールや保冷剤、(JA,もしくは商工会議所から借りる)
- 日差しをさけられるテントを手配する(小中高校、商工会議所などから)

どんな方に出品していただきたいか？

大きく分けて4ジャンル
→→→

- ①津市産の農作物
- ②①を使った料理(お惣菜など)
- ③津の特産物、スイーツ
- ④雑貨

農家さん

家庭菜園をしている方

飲食店さん

具体的には…
次のスライド👉

取り扱う商品

①津ぶっこ

「津らしさ」や「生産環境」、「独自性」、「将来性・希少性」、「生産・流通量」などを調査し、津ぶらんど化を進める商品として、選定された13品目。(津市HPより)





津ぶっこの
産地図
(津市HPより)

取り扱う商品

- ・お米
- ・お花
- ・たまご
- ・その他季節の野菜や果物



こんな飲食店さんに出店してもらいたい！

- ・花咲（和食居酒屋）
津の野菜を使って料理を振る舞うお店。既に、JAみどりの交差点の野菜を使用したメニューを出している。
⇒事前に調理した惣菜を使い捨て容器にパック詰めにして売ってもらうorその場で調理
- ・むくの木
店舗ではパン食べ放題で人気⇒焼いたパンを売ってもらう

取り扱う商品（特産物、スイーツ系）

津ぎょうざ

蜂蜜まん

大判焼き
(さかえや)



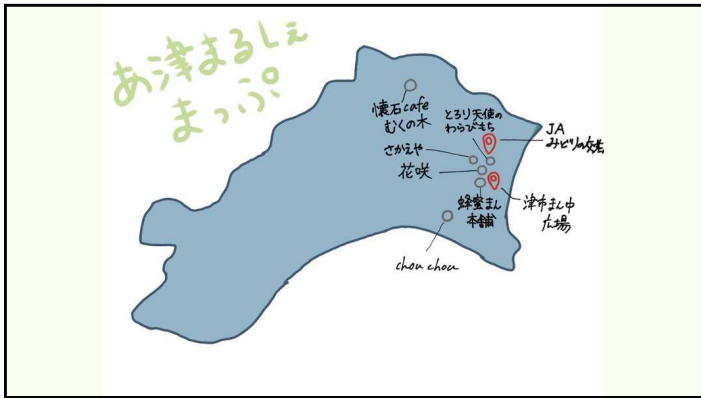
取り扱う商品（特産物、スイーツ系）

缶ケーキ（chouchou）

とろり天使のわらびもち



取り扱う商品（特産物、スイーツ系）



まるしえの運営

運営資金の調達

まるしえを運営するには何かと費用がかかる…

たとえば…

- ・ テーブル、椅子、ゴミ箱などの備品代
- ・ 広告代
- ・ 雨の日用の会場の借り上げ費用

など

そこで、クラウドファンディングを利用する！

クラウドファンディングとは？

インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること

★購入型クラウドファンディング

会場で使える商品券or割引券をリターンとして用意

←出店者に会場の条件として同意してもらう

*仲介サイトcampfireを利用する



流通経路

① 農産物

基本的に農家さんに会場まで運んでしてもらう

農家さんが会場での販売が難しいなら↓↓↓

JAに協力を仰ぎ、農家さんにJAまで運んでもらった野菜を会場まで輸送してもらう

→専用スペースを作って、高校生が販売



② お惣菜、手作りのお菓子、パン

- ・ 調理後持ち寄って販売してもらう
(保存が平易orその場での調理が難しい)



- ・ できたてを食べたい！→現場で調理、包装
(下処理してきてもらう、直前に加熱調理が必要)

※保健所の許可：2000円（出展者負担）

雨の日は？



・ センターパレスの市民オープンステージ

津市まんなか広場近接の屋内施設で実施

晴れの日には休憩所と在庫置き場として用いる

暖をとったり、涼むことのできる場所

地元出身のアーティストのパフォーマンス体験型

→もとから借りしておく

当日朝の5時まで決定し、出店者のメールアドレスにその旨を送る



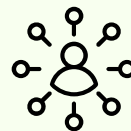
宣伝方法

- ・ 津市HP
- ・ 新聞折込（地域限定）
- ・ 回覧板、掲示板
- ・ Instagram



三重県を元気にするために

あ津まるしえを開くことで、津の農産物、特産物、そして住んでいる人が集まる。もちろん良い物が集まるということがマルシェのメリットだが、人と人との新たな出会いの場を提供することにもなる存在になれる。



期待できる新たな出会いとその先

生産者と消費者→初めて知る食材→リピーター
店と消費者→初めて食べる料理、スイーツ→リピーター
生産者と店→食材と調理方法が会う→新たな料理、スイーツ
生産者と生産者→生産方法の情報交換、相談→仲間の繋がり、より良い物の生産
店と店→調理方法や店舗経営などの情報交換、相談→同業者の繋がり、より良い物の提供
消費者と消費者→お友だちになる→お友だちが増える、自分の住む街以外のことが知れる、興味を持つ

三重県、津がこうなったらいいな



三重県民、津市民によって津の農産物や特産物、料理、スイーツが楽しめる！

農家さんや飲食店がこの地でずっと続けていくことができる！

町、歩く人々に活気が出る！

あ津まるしえ未来図

一ヶ月に一回
→イベントとして開催



津の農産物や特産物、名物料理が広く親しまれる
個人の家庭菜園や手作りのものを届ける場所ができる

津に少しずつだが潤いをもたらす
さびれていくどころか元気を出す

地域として

挑戦しようって思える場所になる



地域の頑張っている人を見て子どもたちが育つ

いいところだと思えたら子どもたちがどこかへ
行ってもまた津に戻りたいと思える

ご清聴ありがとうございました！

